

団体理念

チャイルド・ケモ・サポート基金は

病気があっても一人ひとりの子どもと家族が大切なことを大切にできる社会を目指して活動しています。

チャイケモにとって大事なこと

1, 治療をしながら、生活もあきらめない

チャイケモでは、治療中でも「家族と一緒にいたい」「友だちと会いたい」「○○を続けたい」という気持ちを応援し、実現できる環境をつくります。

活動内容：滞在施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の運営、居場所づくり、滞在者や退居者への相談支援

チャイケモにとって大事なこと

2, 次の一步の架け橋となる

病気や入院生活によって、これまでにないつらい経験をしたお子さんやご家族が、闘病後や闘病中でも「自分もだれかのために」と一歩踏み出そうとしたときに架け橋となれるよう、その場所や機会をつくります。

活動内容：チャイケモウォーク、あのねサポーター

チャイケモにとって大事なこと

3, 多様性を尊重し、だれもが暮らしやすい社会をつくる

大変な治療をがんばった子どもと家族が、「違い」を気にしすぎることなく社会生活を送るには、学校や地域などが普段から違いを尊重し、認め合う環境になっている必要があります。病気の子どもと家族が暮らしやすい社会は多様な背景をもつ子どもと家族、そしてだれもが暮らしやすい社会です。

活動内容：小・中学校でのがん教育、みえてく PROJECT、あのねサポーター